

リモートコンソールと Java のバージョンに関する注意事項

1. 注意事項

HA8000-bd/BD10では、リモートコンソール機能を備えております。リモートコンソールを使用するコンソール端末において、Oracle 社製 Java Runtime Environment (以下、JRE) のバージョンをVersion 7 update51 へ更新しないでください。Version 7 update51 へ更新した場合、リモートコンソールが使用できなくなる可能性があります。

また、Javaの自動アップデート機能を無効に設定してご使用ください。

2. 適用機種、形名

本情報は、以下のモデルに関するものです。

HA8000-bd/BD10 X2

3. JRE自動アップデート機能の無効化手順

(1) JREのインストールフォルダを開きます。

※インストールフォルダを指定していない場合、下記の場所にインストールされます。

32bit版OSの場合 : C:\Program Files\Java\jreX\bin

64bit版OSの場合 : C:\Program Files (x86)\Java\jreX\bin

Xには、JREのバージョンが入ります。

(2) コンソール端末のOSが

- Windows XP、Windows Server 2003の場合 :

「javacpl.exe」をダブルクリックします。

- Windows Vista、Windows7、Windows Server 2008、Windows Server 2012の場合 :

「javacpl.exe」を右クリックして、[管理者として実行]をクリックします。

(3) [更新]タブの[更新を自動的にチェック]、もしくは[アップデート]タブの[アップデートを自動的にチェック]のチェックを外します。

(4) [OK]、もしくは[了解]ボタンをクリックします。

(5) コンソール端末を再起動します。